

## “粉碎”誌の概要

“粉碎”誌は、1957年（昭和32年）11月に、(株)細川鉄工所（現ホソカワミクロン(株)）の創業者である故細川永一会長の同年の紫綬褒章受章を記念に、粉体工学・技術の啓蒙と発展に貢献することを目指して創刊されました。第2号から、翌年に創設されました細川粉体工学研究所（現ホソカワミクロン(株)粉体工学研究所）から発行されることになり、その後原則、年1回出版されています。

英語名The Micromeritics(粉体工学)が示すように、“粉碎”誌は、ものを細かくして粉体を作るという、粉体技術の最も基本的な単位操作である“粉碎”を含めて、粒子や粉や粒体に関連した技術や工学(Powder/Particle/Nanoparticle Science & Technology)の新しい動向や基礎ならびに応用について最新の情報を提供しようとするものです。

“粉碎”誌は、粉体技術談話会の運営委員で構成されるアドバイザーボードの助言を得ながら編集が行われています。

## 粉碎誌投稿要領

### 1. 原稿の種類

本誌の原稿は 以下の4種類に分類されます。

#### 1.1 論文

粉体工学、微粒子工学に関連する完結した研究で、他紙に未発表のオリジナルなもの。

#### 1.2 総説、解説

粉体工学、微粒子工学に関連ある分野の解説的記事。著者の意見や見解を盛り込んで、入門的に分かり易く説明したものが望まれます。

#### 1.3 テクニカルノート

粉体工学、微粒子工学に関連する処理装置・評価装置、あるいは粉体材料やこれらを用いた製品の開発、設計、運転、評価、応用等に関する技術的研究成果を纏めたもの。

#### 1.4 その他

上記以外の原稿。

### 2. 原稿の編集

- 1) 原稿には、和文・英文タイトルと和文・英文要旨をつけて下さい。また図表のキャプションは和英併記して下さい。
- 2) 論文につきましては、原則としてアドバイザーボードのメンバーによって査読を行います。
- 3) 原則として年1回発行します。
- 4) 抜刷をご希望の場合は編集事務局へご連絡下さい。

い。実費にてお送り致します。

- 5) 掲載後の原稿は原則として返却しません。ただしご要望の際は対応致します。
- 6) 粉体工学に関する講演討論会、ならびにホソカワ粉体工学シンポジウム等の予稿集から本誌に転載致しました原稿には原則として稿料はお支払いしません。ただし、編集委員会より社外の著者に執筆をお願いしました依頼原稿については稿料をお支払いします。

### 編集委員：(ホソカワミクロン/HMC)

前出省三、須原一樹、花川忠己、猪ノ木雅裕、辻本広行、野原伸介、向河原栄  
[出版責任者] 横山豊和  
[編集事務局] 中山幸治、崔 霊

### アドバイザーボード：

奥山喜久夫（広島大学名誉教授）、鹿毛浩之（九州工業大学教授）、高橋実（名古屋工業大学名誉教授）、竹内洋文（岐阜薬科大学教授）、辻裕（大阪大学名誉教授）、内藤牧男（大阪大学教授）、野城清（大阪大学名誉教授）、東谷公（京都大学名誉教授）、日高重助（同志社大学名誉教授）、福森義信（神戸学院大学教授）、牧野尚夫（電力中央研究所首席研究員）、松坂修二（京都大学教授）、綿野哲（大阪府立大学教授）

### ◎連絡先

〒573-1132 枚方市招提田近1-9

ホソカワミクロン(株)内

“粉碎”誌 編集事務局宛

TEL: 072-867-1686 / FAX: 072-867-1658

E-mail: [contact\\_zainfo@hmc.hosokawa.com](mailto:contact_zainfo@hmc.hosokawa.com)

## 原稿募集

“粉碎”誌の原稿を募集致します。粉体工学に関する論文、総説、テクニカルノートなど特徴ある記事をふるってご投稿されますようお願い致します。

次号発行予定 2016年12月

原稿締切 2016年8月末

### 表紙の写真

ホソカワミクロン株式会社は、1916年の創業以来、微粉碎機「ミクロンミル」や微粉分級機「ミクロンセパレータ」をはじめ、粉体分野の先進的な装置を創出し、近年ではナノ粒子を用いたマテリアルにも進出するとともに、研究開発のグローバルな連携を進めています。2016年には創業100周年を迎えます。

### 無料WEB編集版：

[www.hosokawamicron.co.jp/jp/lab/micromeritics/](http://www.hosokawamicron.co.jp/jp/lab/micromeritics/)